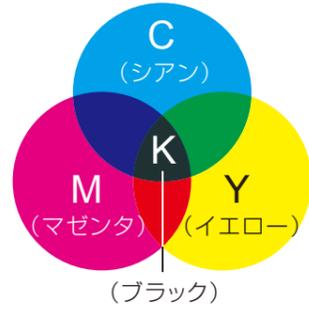


■CMYKカラー(プロセスカラー)

CMYKとは、主に印刷などに使われる発色方法です。

シアン(Cyan)、マゼンダ(Magenta)、イエロー(Yellow)の色材の三原色を利用した混色方法で、印刷ではこれにブラック(K)を加えた4色が利用されています。色が混ざるほどに暗くなり、黒に近づいていきます。これを「減法混色」といいます。CMYKは、カラー印刷などに使われています。



■特色

特色(とくしょく)は、印刷においてCMYKカラー(プロセスカラー)では再現できない色を表現するために、インクメーカーなどにより、あらかじめ調合(調色)されたインクのことです。

CMYKカラー(プロセスカラー)で再現できない為、インクジェットプリンタでは特色は基本的に再現できないことが多いです。(近似色にもならない事もあります)。

●日塗工カラーチャート

日本塗料工業会が発行している色見本帳です。2019年5月の時点では「2019年 K版」が最新版。年度によりカラーチャートの中で廃番になっている色もある為、色指定があった場合は【何年度版】かの確認が必要です。



●DIC(ディック)カラーガイド

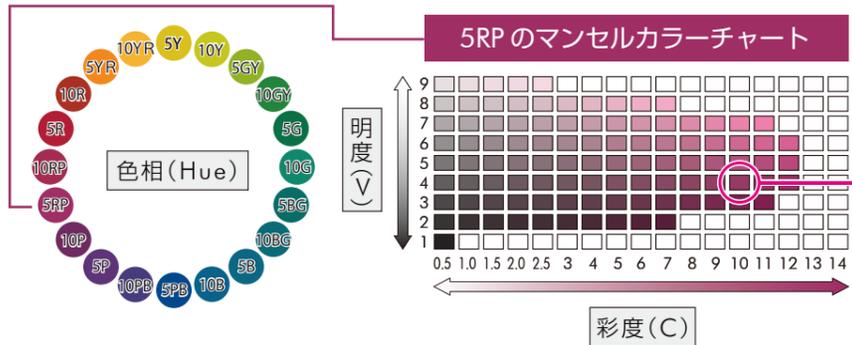
DIC(株)が発行している色見本帳です。印刷会社やデザイナーなどの間で色指定や色合わせに利用される代表的な色見本帳です。DICカラーや、単にDICとも呼ばれています。色指定があった場合は【何版】かの確認が必要です。



■マンセルカラーシステム

色を定量的に表す体系である表色系の1つです。色彩を色の三属性(色相、明度、彩度)によって表現します。

色の三属性を併せた表記法は、「色相 明度 / 彩度」です。



マンセル値の見方

例) 5RP 4/10
(色相 明度 / 彩度)

色相が5RP、明度が4、彩度が10の組合せとなる。

当社商品に関するご注文・お問い合わせはこちらまで

Tel 076-289-6639 (直通) Fax 076-289-6637

路面サインの最適「配色」とは!!

色の3属性
CMYKカラー
特色
マンセルカラーシステム



路面サインの最適な「配色」とは!!

「サインが廻りに同化して見えない」「サインの文字が読めない」「サインが派手すぎて周辺環境から浮いて見える」そのような状況ではサインが効果的に機能しているとは言えません。サインが効果的に機能する要因として「視認性・可読性」「形状・配色のキレイさ」「景観とのマッチング」などが考えられます。

今回のサンコーニュースは路面サインをデザインする上で「視認性・可読性」「形状・配色のキレイさ」「景観とのマッチング」に関する影響が大きい、最適な「配色」とは何かについてご紹介します。

最適な「配色」と言っても目的、対象、設置環境、景観条例など様々な要因により変わりますので今回ご紹介する内容は、あくまで基本的な路面サインの配色を決める上で、指標の1つとなればと考えています。

路面サイン本体の配色による「視認性・可読性」の違い

■色みと色の明暗度合いの影響

図1の様に色み(色相差)が大きく、かつ色の明暗度合い(明度差)も大きいデザインは「視認性・可読性」が高いサインと言えます。

図2の様に色み(色相差)が大きくても色の明暗度合い(明度差)が小さいデザインは「視認性・可読性」が低いサインと言えます。



図1

図2

■同系色と反対色の影響

図3の様に同系色(色相の近い色)の配色、もしくは色数を制限した配色の場合は統一感があり美しいサインと言えます。

右図の様に反対色(色相が遠い色)や色数を多く使う配色の場合はアンバランスな印象を受ける傾向のサインと言えます。



図3

図4

「設置路面の色」と路面サインの配色による視認性の違い

■設置路面がアスファルトの場合

路面サインの「視認性・可読性」は設置路面の色に大きく影響します。アスファルトの色は濃いグレーの為、路面サインの色が濃い(明度が低い)場合は図5の様に境界部が解りづらくなります。

図6の様に路面サインの色を薄く(明度を高く)すると視認性の高いサインと言えます。



図5 視認性が低い



図6 視認性が高い

■設置路面がコンクリートの場合

コンクリートの色は薄いグレーの為、路面サインの色が薄い(明度が高い)場合は図8の様に境界部が解りづらくなります。

図7の様に路面サインの色を濃く(明度を低く)すると境界部がハッキリし視認性の高いサインと言えます。

この様に路面サインが同色の図5と図7でも設置面の色により視認性が大きく影響されることが解ります。



図7 視認性が高い



図8 視認性が低い

路面サインの「視認性・可読性」の高い配色の基本的な考え方は

※設置目的、対象、周辺環境、景観条例などを考えて配色を決める必要があります。

- 路面サイン本体の「隣合う色」の明度差を大きくする。
- 路面サイン本体をバランスの良い「色味と色数」にする。
- 路面サインと設置路面の色の明度差を大きくする。

色の3属性

色を区別し、表すための「色相・明度・彩度」の三つの要素の事を言います。

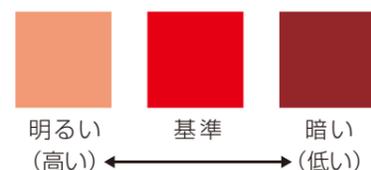
色相

色相とは赤、青、緑といった色みの違いを表すものです。



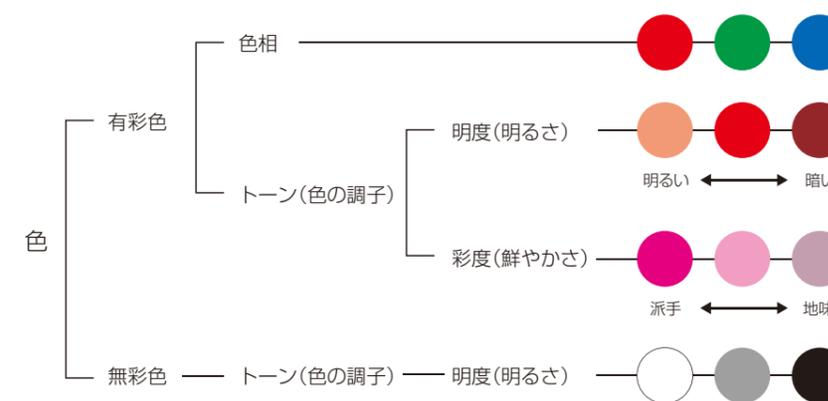
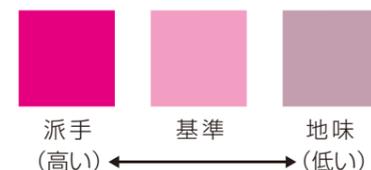
明度

明度は、色の明暗度合いのことです。明度を数値で表すとすれば、その数値が高いほど、色は明るみを増すこととなります。明度が100%であれば白色、0%であれば黒色となります。



彩度

彩度とは色の鮮やかさを表す属性です。彩度は「高い」「低い」でその度合いを表します。彩度が最も高い色は鮮やかな原色となり、彩度が低くなるにつれてくすんだ色みを感じない色に変化し、最後には無彩色になります。



⇒ 裏面はCMYKカラー(プロセスカラー)と特色に関して記載しています。